

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	佐賀市立若楠小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校運営協議会において学校教育について評価をお願いしたところ、8項目において、「A十分達成できている」の評価をいただいた。これらは全職員で取り組んだ成果だと考える。更に質の高い学校教育を目指して、学力の向上、心の教育、特別支援教育の充実には継続して取り組み、運動習慣の改善、業務改善、地域との連携については、学校運営協議会からの意見や助言等も参考にしながら、対策を講じながら十分達成を目指していく。</p> <p>・「学びのプラン」の活用を継続しながら資質・能力の育成を明確化し、「あたたかい聴き方やさしい話し方」を基盤とした子ども主体の授業や授業研究を推進していく。</p> <p>・ユニバーサルデザインを基盤にしたあたたかい集団づくりを行い、教師が児童一人一人のよさを認め、成長へとつながる生徒指導を目指す。</p> <p>・コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を中心に地域との協働を深めつつ、学校運営及び教育活動を更に推進していく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>「夢をもち、明るく笑顔で生き生きとチャレンジする児童の育成」 ～たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>○ともに学び合い、認め合いながら学びを深める子ども</p> <p>○元気なあいさつ、言葉かけができる子ども</p> <p>○あきらめず、前向きにチャレンジする子ども</p>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・授業力向上を目指した改善	○校内研究を通して授業力が向上した教師80%以上	・各学年部で授業公開を行い、研究会を通して授業力の見直しと改善を行う。							知育成部
	○児童が主体的に学ぶ授業の実践	○「友達との対話的な学習を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と回答した児童80%以上 ○「学習に対して粘り強く取り組むことができた」と回答した児童80%以上	・校内研究の「聴き方・話し方」のステップ表を活用しながら児童同士が「つなげる」対話的な授業づくりに取り組む。 ・「学びのプラン」を活用し、自己の学びを振り返る場や調整する場を設定する。							知育成部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「クラスの仲間の誰かが失敗したり、困ったりしているときに、声を掛けたり助けたりすることができる」と回答する児童90%以上	・子ども理解を基盤とした人的環境のユニバーサルデザインを基盤にした学級づくりを行う。 ・縦割り活動での異学年交流や学級・学校全体でのほかほか貯金の取組を行う。							心育成部
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「いじめ防止等について組織的対応ができている」と回答した職員90%以上 ○「学校が楽しい」と回答する児童90%以上	・いじめアンケートやほのぼのアンケート、教育相談月間の取組を実施し、いじめの早期発見に努める。 ・職員会議や連絡会で児童情報を共有し、共通理解のもとに組織で対応する。 ・年2回QUTテスト及び研修会を実施する。							心育成部
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれている」と回答した児童90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上 ●教育活動全体を通して、自己肯定感を高め、児童の自主性を生かす活動を仕組む。	・未来を切り拓いていくための資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修の実施。 ・教育活動全体を通して、自己肯定感を高め、児童の自主性を生かす活動を仕組む。							
●健康・体づくり	●運動習慣の改善や定着化	●授業以外で運動やスポーツなどを動かす時間を1週間で420分以上の児童80%以上	・年に2回以上スポーツフェスタを催し、朝や20分休み、昼休みに外で運動する機会を増やす。 ・職員も児童の遊びに関わり、学級で外で遊ぶ雰囲気を作る。							体育成部
	○歯科保健の充実	○「1日3回以上歯みがきをしている」と回答する児童85%以上	・給食後の歯みがきタイムを全校で実施する。 ・歯と口の健康に関する保健だよりや掲示物を作成し、児童と保護者が歯科保健の知識を増やす手立てを行う。							体育成部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・定時退勤日の設定 ・超過勤務時間が月45時間、年間360時間を超えないよう月ごとに集計結果を回覧で知らせ、啓発する。							教務部
	○タイムマネジメント・タスクマネジメント能力の向上	○月の時間外在校等時間が45時間を超える職員の割合30%以下	・仕事に優先順位をつけ、ゴールを決めて、計画的に効率よく取り組む。 ・限られた時間でいい仕事をするという働き方に対する教員の意識向上を図る。							教務部
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「支援を要する児童のニーズに応じた取組を行った」と回答した教員90%以上	・特別支援に関する研修会の実施 ・年5回の子ども支援会議とケース会議の開催、関係者間で情報共有を図る。							心育成部

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○地域との連携の充実	○家庭・地域との連携・協働を強める学校づくり	○地域行事への参加を促進し、「地域の行事に進んで参加した」と回答した児童70%以上	・地域と連携を取り、「むつみ会」「ゴジラの会」「地域子ども教室」等の活用を拡大する。 ・放送や学校便り、ホームページ等で保護者や児童に地域行事を周知し、積極的な参加を促す。							教務部

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------